東小は移転の場合も

バイパスに支障で

（第一面から）

新津教育委員長　運動公園の変更がともなうが、私どもが測量して素案を町へ提出した、かなりの変更なので不安があり、行政的ルールに違反するかもしれないが道の都市計画課へ伺い一部の変更ならよいとの自信を得たどの程度の変更になるか内部的に一月中をタイムリミットにすすめたいこの機会を逃しては建てられない

起債は過大ではないか

湯浅議員　起債は四十六年以降四十八年までに実に三億円余の増加をきたした財政規模は十八億円でこんどやるべきものがありやがて財政的に最悪の事態となる　自治体として危険な状態でないか、元利合計十一億一千万円の償還について任期は来年度でおわる、四十九年度は小林町政の二期目の最終年度だがどういう姿勢で臨むのか、定例会は三月だが臨時議会の予定があるか

富田助役　地方財政は国に五割以上を依存しており起債がふえるが辺地債、過疎債は八〇％、七〇％の元利補給があり、町の施設は後世代まで利益を蒙るので後代の負担となる、町税、地方交付税の一五％以上は貸出し制限があり、償還が過大にならないよう慎重になっている、四十九年度の見通しは四十七年度程度となりあまり期待できない、臨時議会はもう少し検討したい

新年度は中足寄小建設

香川博彦議員　来年度は小林町政二期最終の年度で厳しい情勢のなかで重点施策はどこにおくのか、基本的な考え方をききたい

小林町長　二期最終なので一応年次計画の事業をなんとか遂行したいが、四十九年度はかってないうけとめ方で現段階で見通しは立てられない

香川議員　これだけはなにがなんこもやり抜きたい重点施策はなにか

小林町長　教育施設では中足寄の統合校舎、道路の整備、継続的な意味で敷地などの購入となる

香川議員　西小の問題は教委はなんとか一月中に結論を出したい、理事者はこれから道の段階で変更できればというが一月に結論が出せるのか、一月中に位置が求められれば来年度着工は可能なのか、東小のバイパスの問題で新たに検討したいというのはどういうことか

西小は用地買収だけ

岡教育長　自信をもっており、道への折衝も町長から指示をうけて参った、明年度の着工は中足寄もあり一年に二カ所は不可能で用地取得だけとなる、町と道との調整は不可能ではないと明言する、バイパスの問題で東小が支障となれば補償をうけて適地を求めて移転も考えられる

香川議員　用地買収は公社か、用地買収に補助はあるか、町百年の将来のため一月中に煮つめられるか

岡教育長　西小、東小の両立に変りはない、バイパスは切り離して考え一月中に建設省と協議する、用地買収は補助、起債による

高校定時制は募集難に

香川議員　足寄高校の定時制は第一次で三名、第二次で十四名だったので来年度停止すれば三年間でなくなる、はたらくものの教育の場として必要なので道への対策、町内へのPRをどうしているか、存続するための手段をききたい

岡教育長　道立なので私どもの所管ではないが足寄にある以上考えねばならない、入学者がすくないので閉鎖は表面化していないが勤労者の教育の場として第一段階として、本年度卒業の中学生二百七十九名の進路指導をしているが在町する中学生はタッタ一人で情けない、農業後継者一人で対策として商工会を通じて求人の条件に定時制に通わせる、給与も帯広市と同様にする、その条件で二十二店から申し入れがあり、三千円程度の奨学資金を出す案ももっている、どうしても残すことを道教委へ陳情する

香川議員　正式に通達がきているというので努力してほしい

ダンボール工場は明年操業

斉藤祐一議員　下足寄へダンボール工場を新設について農業委員会で認可したが確実にできるのか、土地の契約はどうなるか、工業団地の位置の問題で委員会が付帯条件を出したが考え方はどうか、豪雪対策は上大誉地の例もありどうなっているか、道々との接点が除雪されず牛乳搬出で迷惑していると、農地移動奨励金の反あたり二千円はすくないのではないか、山振法のなかの公民館的なものを変更して機械を重点にすべきではないか

土田商工観光課長　第一のダンボール工場の設置は恵庭町に本社の合同容器株式会社が帯広、釧路、北見三市の接点にある足寄町が適地とし、町でも企業誘致として用地に協力した、下足寄太の杉本実氏の所有地を企業と売買契約をし内金が支払われた、会社自体は五十年四月に着工して十月に操業するとのことで、総工費は十億円、地元就労人員は五、六十名程度で農振解除を支庁へ手続きをすすめ転用手続きも農林大臣の事前審査で三、四月ころ許可となり秋から土地造成となる、木工団地の関係は一応位置として字足寄の廃芥焼却場から上の地点を計画している

小泉建設課長　除雪対策のため延五〇〇キロあり、生産流通、通学バスの確保をはかる

富田助役　農地適正化の反二千円は明年度予算編成のさい検討する、機械導入に集落センターの変更を考えたい

小坂山

地帯を農業振興地域に入れても混牧林だからいつでも解除できる、支庁長権限だから本庁へはいかないでーとのことだったが、なにしろ一千鈔ものジャンボな売買だけに、自治体自らが農外資本に農地を売るとはとー本庁がお冠りで、あの書類もこの書類もと根堀り葉堀りで暮には現地で雪を堀って土壌まで調べるという念の入れようーおりからの自然保護、環境保全の網にかかった形で、九月に議決をし契約をし内金をうけとりながらこのありさまでは町も甘かったし支庁も無力な存在で、小林町長もみ腰をあげて道庁へ出かけるとのこと。

石油危機で観光レジャー後退のときに直面しながら開発にあたる野上電鉄不動産では新春にも来町して計画どおりに日本一の施設をつくりあげると強気ですがー。

学園都市

から高速道路、大型空港などの誘致にたいする理事側者の動きは不充分として発足した町議会の開発促進対策特別委員会は、十八日に十勝総合開発期成会と話し合ってから運動を展開。

問題の焦点

東小学校

横を通る予定の市街地国道のバイパスは巾員二二㍍が四二㍍にひろがるために体育館の半分が引つかかることになるうえに、白糠線鉄道もあるので、このさいイヤでも学校そのものの移転が現実の問題に。

西小学校

のような中心校ともなればその位置についてはどこの町村でも議会、理事者、教委、PTAが一体となって決められるものなのにテンデンバラバラといった状態。

PTAを中心にした新築期成会が年中行事のように毎年一回の署名運動をつづけながらメドがつかず、一昨年に町議会が特別委員会を設けて五カ月間も調査しながら位置を見出せず、理事者側は現位置ー常盤高台ー運動公園へとコロコロ。

なにしろ昨年四月にようやく道知事から運動公園の認可があったところで、期成会がそこえ西小の移築をいい出せば教委もそこが一番よいというので、困ったのは町側、運動公園を議決した議会ではこの陳情を不採択にしたものの、来年の統一地方選挙を前にして町内最大圧力団体？の要請に抗しきれず、この十七日に町長、議長、教育長、都市計画委員会長らが打ちそろって道へ運動公園の変更を陳情におよぶとのこと。

しかし東小を利別川沿いの家畜と場を移転させてそのあとへ移築するより、年に一度のばん馬競走や商工祭りに使用するだけの投場前の空地を活用して東西両小の統合校舎を考えてはとの意見もあること。

町有林からの薪炭材を

高橋募議員　石油事情による薪炭材の払い下げについてー従来町有林からの薪で薪ストーブで石油の実績はなく遠いところへはこんでくれない、自然林の皆伐択伏、間伐材を払い下げてはどうか、池田町でも町民に薪炭材を払い下げており、わが町でも考えてはどうか

小林町長　貴重な町有林を守らねばならない、基本的には四十六年をもって薪炭材をとりやめた考え方はエネルギー革命のなかで貴重な町有林の資源を、外材を五割も六割も輸入しているときに薪に消費するのはかんばしくない、有効に活用したい、もう少し事情をみたい

高橋場員　町有林の管理についてーブルで山に入り大がかりな盗難事件があり四十日間も理事者の耳に入らなかった、この春にもあった、具体的に手を打っていないので監視員のほかに町有林隣接の自治会長に委嘱監親させる考えはないか

小林町長　内容的にそのとおりで遺憾に存じ、この対策に自治会長への委嘱、町有林へ通ずる近くの方へお願いしたい

町内業者育成の再検討

建設委が指摘

建設常任委員会（鳴海一郎委員長）では、所管事項調査として昨年の七月から十一月までに四回、七日間にわたって町内の建設工事状況を調査した結果をつぎのように報告しました。

一、良心的な業者育成などを目的として、町内業者育成という思いやりの配慮がなされているが、逆に一部においては工期が大巾に遅延し、冬期に入っても、大切な町民の財産をつくるという、その厳しさを全く感じていないと判断せざるを得ない業者もみうけられるので、町内業者育成という配慮には再検討の必要がある

二、業者の施工能力以上に指名入札に加わり仕事をとっているのは、一面、工期の設定が契約金額、工事内容などからみてふさわしくない設定をしていることに問題があると思われるので、厳正な工期の設定をすべきである

三、毎年くり返しているが、工事が冬期間にかかると影響するものが沢山あるにもかかわらず、厳冬期に竣工するような工期を設定することについて、これらの問題を解消しようとする配慮に欠ける面がある、町民の財産をつくるうえで慎重な配慮を望みたい

四、落札者かその契約工事の全部を下請けに出すような方法は好ましくない

文教厚生常任委員会（新沼芳雄委員長）では、十一月に三日間にわたって所管事項を調査した結果の意見をつぎのように報告しました。

△小学校関係

一、配当予算は例年不足の傾向にあるが、本年度は特に諸物価の著しい高騰により、すでに十一月以降の予算残額は皆無の学校もある状態で、これらの予算は直接児童の教育のために使用されるものが大半でありまた教育技術の変革にともない教育機器の導入、特殊教育用資材の需要も増加しているので、実態に即した予算措置を講じ教育に支障のないよう配慮すべきで、このことがなされないかぎり、結果的には父兄の義務数育費負担に結びつく素因となるものである（例ー西小におけるPTAの直接援助五十一万円）

二、校舎周辺の緑化、プールの設置、暖房施設、グラウンドの整備は各学校共通の問題であり、年次計画を樹立して整備をはかるべきである

三、個別事項　A　各校とも継続事業などにともなう建物のつぎたし部分からの雨もりがみうけられるので、設計上あるい工事執行上において充分留意すべきである　B　東小は文部省から道徳教育研究指定校として、研究活動をつづけており、明年度その成果を発表する計画であるが、このための必要な経費はそれぞれ国、道に負担させるよう努力すべきである　C　特に市街地における教職員住宅に属する敷地は狭隘であり、公営住宅などをふくめ車庫用地の確保に配慮すべきである　D　数職員住宅の現状は、校長住宅を除き三DKが採用されているが、案族年令（特に子供）が高まるにつれ日常生活に不便をきたしているので、設計などに改善工夫されることが必要である　E　社会教育、学校教育をすすめるうえで町としての目標が必要であると判断されるので、町民憲章および学校教育目標の設計を促進すべきである　教育予算はここ数年来学校統合にともなう校舎新築などのため一般会計に占める割合も比較的高い財源充当がおこなわれてきたが反面、そのシワヨセが他の学校におよぼし、たとえば中心校である足寄中学校の極端な特別教室、教材教具の不足の状態、あるいは近く統合計画があるとか、新築計画があるとかの事由によって喜登牛小、西小などにおける施設設備の劣悪な状態など、そこに学ぶ児童生徒を思うとき、単に統合校に財源が必要であるという事由のみによって等閑にすることはできないと思われるので、教育機会均等の立場から充分な配慮が必要と思われる

△その他の施設

浄化センターの性質上、特に環境の美化に配慮する必要がある

委告

教報文の

劣悪な施設の中心校

成人式に

十五日の足寄町公民館での成人式に南三区の前寺忠三郎氏は一九五名の成人全員に社会人手帳を寄贈しました。